

令和4年度事業計画

【基本計画】

令和2年1月に国内初の感染者が確認されて以来、「新型コロナウイルス感染症」の拡大が収束することなく2年が経過しました。この間、緊急事態宣言を始めとする様々な措置や対策が講じられてきましたが、感染状況は刻々と変化し、変異株（オミクロン）の急激な感染拡大等により感染症との闘いは今なお続いています。

こうした社会不安が続く中、日常生活も大きく変化し、いわゆる「3つの「密」」の回避やソーシャル・ディスタンスの確保が求められ、マスクや手洗い等の基本的な対策に加え、リモートワークや外出自粛等の人と人との接触機会の減少が要請され、日常生活や働き方も大きく様変わりしました。

このような厳しい状況の中で、当センターにおいても「新しい生活様式」の下で引き続き感染症拡大防止対策を徹底し、センターに対する地域社会の様々な需要に応えるため、更なる会員の増強に取り組み、人口減少、少子高齢化が進む中、地域社会の活性化のため生き生きと「生涯現役」として活躍する「人生百年時代」の実現を目指し、働く意欲と能力のある高齢者が長年培ってきた知識や経験を活かし活躍できる場として、事業の継続と発展に努めます。

就業においては、コロナ禍の中、昨年同様に大変厳しい状況が続くと予想されますが、就業開拓創出員を中心に会員のニーズの多様化に対応した就業先の開拓を積極的に推進し、就業機会の確保や就業率の向上に努めます。

また、「安全は全てに優先する」を基本原則に、昨年度に引き続き安全就業対策を最優先課題として、研修会等を通じて会員一人ひとりの安全意識を一層高め、無事故達成に向け、組織が一丸となって安全就業に取り組みます。

次に、理事長が掲げる今年度のスローガンは、「切磋琢磨」としました。努力を重ねて自分を磨き上げ、仲間同士で向上を目指し、地域の日常生活に寄り添い多様なニーズに対応できる魅力あるセンターを目指します。

シルバー人材センターを取り巻く環境は依然厳しい状況が続くものと思われませんが、当センターは、地域に密着し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って活躍できる環境づくりに引き続き取り組み、所沢市をはじめとする関係機関のご支援ご協力を頂き、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、今年度を初年度とする「中期基本計画」を指針とし、新型コロナウイルス感染症の動向にも留意しつつ、会員・役職員が一体となり連携を強化し令和4年度の事業を展開します。

【実施計画】

1. 本年度の目標契約高 7 億円
2. 本年度の目標就業率 75%
3. 会員活動の充実

☆安全・適正就業の推進

「安全はすべてに優先する」を基本に安全就業パトロールを実施し、会員の就業中の事故や就業途上の交通事故等の防止に向けた対策の強化を図り、会員一人ひとりの安全意識を一層高め、事故の撲滅に努めます。

また、就業における熱中症対策や新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための注意喚起等の周知活動に努めます。

適正就業では、多くの会員に就業機会を提供できるよう、適正な事業運営に取り組みます。

☆会員の増強

コロナ禍の影響により活動制限があるものの、市内で開催される各種イベント等への参加等をとおしてセンターのPRを行います。また入会促進活動を会員及び役職員が一体となって取り組むことと併せて女性の方の入会促進も推進して参ります。

☆就業機会の開拓と就業率の向上

請負契約と派遣契約それぞれの契約の利点や特性を活かした就業開拓を積極的に推進して参ります。

会員の就業希望や適性等の把握に努め、一人でも多くの会員が就業できるように、より一層就業相談等の充実に務めるとともにワークシェアリング就業を推進し未就業会員に対し就業の提供を促進します。

また、会員がこれまで培った豊かな経験や技能を活かすため、会員データベースを活用し就業機会の拡大と就業率の向上に努めます。

☆広報・ホームページの充実

広報紙「つどいの樹」とホームページは、所沢市シルバー人材センターの現状や活動方針を伝える極めて重要な手段です。より多くの皆様が読みたくなる広報紙面、興味・関心を寄せていただけるホームページを提供し、センター活動の周知に努めて参ります。

☆地区活動と地域連携

センターには、市の行政区と同じ11の地区組織があり、各地区の地区長及び担当理事で組織する地区長会議を中心に効果的な活動を行います。

会員への情報伝達、会員相互の懇親、会員増強・就業開拓等でのセンターとの連携、また地域に根づく活動として公民館活動や自治会活動への積極的な参画交流などを図りながら活発な地区活動を展開します。

☆研修・講習の充実

地域企業、市民、公共団体等様々な就業依頼に応えるため、会員に対し各種研修会等を行い、会員の資質向上に努めます。

自転車等による就業途上の交通事故が多く発生しており重篤事故につながることから自転車安全運転講習会等を実施し交通事故防止に努めます。

また、会員の高齢化が進んでいることから、心身の活力低下の予防や知識の習得やフレイル予防対策等の推進、また就業に繋がる実践的な研修会等の実施にも取り組んで参ります。

☆市から受託している指定管理業務

令和元年度から5年間の指定管理業務を受託した「老人憩の家」4荘については、引き続き利用者のニーズに応えられるサービスを提供し、安心・安全に利用できよう、親切丁寧な対応を心がけ、様々な企画を提供できるよう管理運営に努めます。

☆独自事業

地域において根付いてきた営農事業や製麺事業(所沢うどん)、事務所入口で展示販売しているシルバーショップ(会員作品販売)、さらにイベント班を中心に市内各地域で開催される各種のイベント等にも積極的に参加し、就業機会の拡大と併せて地域社会に対してのセンター周知活動としても事業を展開します。

☆その他

会員の親睦団体である悠和会は、会員同士の繋がりや居場所づくりになくてはならない団体でありセンターとの連携を図ります。

また、みまもりネットワークを推進する一員として会員活動で気づいた地域の情報は、管轄の地域包括支援センターに報告すると同時に自治会組織とも連携を図ります。

令和4年度の事業実施については、昨年同様に新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み感染症対策を徹底し事業計画の変更等も考慮しながら慎重に進めてまいりますので、会員皆様のご理解ご協力をお願い致します。